

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 三菱ロジスネクスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7105 URL <https://www.logisnext.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 久保 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部長 (氏名) 宇野 隆俊 TEL 075-951-7171
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	185,462	△10.4	△462	—	△708	—	△1,963	—
2020年3月期第2四半期	207,086	△3.9	5,092	16.0	4,791	△6.7	2,094	△17.7

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 △2,621百万円（－％） 2020年3月期第2四半期 △2,180百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△18.43	—
2020年3月期第2四半期	19.67	19.60

（参考）のれん等償却前営業利益 2021年3月期第2四半期 4,342百万円（△53.7％） 2020年3月期第2四半期 9,373百万円（6.5％）

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	349,335	53,259	14.6	477.50
2020年3月期	373,640	57,326	14.7	515.15

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 50,870百万円 2020年3月期 54,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	13.00	13.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,000	△13.1	△2,000	—	△2,500	—	△4,000	—	△37.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社、除外 一社 （社名）三菱キャタピラーフォークリフトヨーロッパ社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式及びA種種類株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	106,543,013株	2020年3月期	106,536,013株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	7,216株	2020年3月期	7,102株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	106,534,027株	2020年3月期2Q	106,491,483株

※期末発行済株式数及び期中平均株式数の算定には、A種種類株式を普通株式と同等の株式として含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍により半ば停止状態であった経済活動が徐々にではあるものの復調傾向となる中での推移となりました。グローバルには、いち早く経済活動を平時に戻した中国を始め、欧米でのロックダウン解除、アジア圏での規制緩和により、ヒト・モノ・カネがようやく動き始める状況となりました。国境を越えての人の往来は未だ難しいこともあり、従前に復するまでには至っておりませんが、今後への期待が持てる状況となってまいりました。一方、日本経済に目を転じれば、コロナ禍の影響が欧米に比べここまで軽微であった事もあり、6月の自粛活動緩和以降、業種別ではまだ模様ではありますが、各種経済活動の一層の復調が実感されます。

しかしながら、足元では欧州でのコロナ禍の再拡大や米州での感染者数の増加傾向は続いており予断を許さない状況にあると共に、解決策が見いだせない米中貿易摩擦の継続など経済の不安定要素はむしろ増大しており、今後の市場動向への懸念を払拭するまでには至っておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、1,854億6千2百万円（前年同期比10.4%減少）となりました。第1四半期連結会計期間に比して当第2四半期連結会計期間では、経済環境の良化により全世界的に受注状況は好転したものの、未だ十分な売上への寄与までには至っておりません。利益面につきましては、売上の減少を受け固定費の削減に取り組んでいるものの、営業損失は4億6千2百万円（前年同期50億9千2百万円の利益）、経常損失は7億8百万円（前年同期47億9千1百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は19億6千3百万円（前年同期20億9千4百万円の利益）となりました。

なお、のれん償却等の影響を除くと、営業利益は43億4千2百万円（前年同期比53.7%減少）となり、営業利益率は2.3%となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内事業〕

国内事業は、6月以降の日本市場の堅調さを背景に当第2四半期連結会計期間におけるセグメント利益は黒字となりましたが、輸出向け受注及び売上の伸長は十分とは言えず、売上高は807億4千4百万円（前年同期比9.2%減少）となりました。全グループ挙げて固定費の削減に取り組んでいるものの、売上高減少による利益減を補うには至らず、セグメント損失は、4億6千万円（前年同期13億4千2百万円の利益）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は21億1千7百万円（前年同期比42.8%減少）となっております。

〔海外事業〕

海外事業は、国内事業と同様、当第2四半期連結会計期間においては、コロナ禍の影響が落ち着いた中国市場やロックダウンが解除となった欧米アジアでの伸長によりセグメント利益は黒字となりましたが、前期並までの回復には未だ時間を要する状況であり、昨年7月に買収した米国販売会社Equipment Depot, Inc.の新規連結寄与があったものの、売上高は1,047億1千8百万円（前年同期比11.4%減少）となりました。売上高減少による利益減少を固定費の削減で補いきれない状況も国内事業と同様であり、セグメント損失は、1百万円（前年同期37億5千万円の利益）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は22億2千5百万円（前年同期比60.8%減少）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は3,493億3千5百万円となり、前連結会計年度末より243億4百万円減少しました。流動資産は、売上債権の減少等により177億6千3百万円減少しました。固定資産は、主にのれん等償却により65億4千万円減少しました。

負債合計は2,960億7千6百万円となり、前連結会計年度末より202億3千7百万円減少しました。主な要因は、仕入債務の減少等によるものであります。

また、純資産につきましては、新株予約権及び非支配株主持分を除くと508億7千万円となり、前連結会計年度末より40億8百万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年10月8日の「連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,335	16,520
受取手形及び売掛金	73,537	60,816
電子記録債権	1,782	1,679
商品及び製品	38,025	39,277
仕掛品	8,124	8,126
原材料及び貯蔵品	15,808	12,416
その他	42,109	38,073
貸倒引当金	△1,161	△1,113
流動資産合計	193,560	175,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,489	20,384
機械装置及び運搬具(純額)	46,830	44,223
土地	22,938	21,637
その他(純額)	11,164	11,502
有形固定資産合計	101,423	97,748
無形固定資産		
のれん	41,510	38,226
その他	21,709	20,252
無形固定資産合計	63,219	58,479
投資その他の資産		
投資有価証券	5,848	6,518
その他	9,659	10,870
貸倒引当金	△71	△77
投資その他の資産合計	15,435	17,311
固定資産合計	180,079	173,538
資産合計	373,640	349,335

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,974	32,392
電子記録債務	23,976	20,145
短期借入金	44,396	43,620
未払法人税等	2,235	1,006
賞与引当金	4,473	4,415
役員賞与引当金	92	38
製品保証引当金	4,494	4,287
関係会社整理損失引当金	75	75
その他	31,726	30,110
流動負債合計	154,445	136,092
固定負債		
長期借入金	131,463	130,903
製品保証引当金	789	357
役員退職慰労引当金	7	10
退職給付に係る負債	16,103	16,225
その他	13,504	12,488
固定負債合計	161,868	159,984
負債合計	316,314	296,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,904	4,905
資本剰余金	35,785	35,786
利益剰余金	14,796	11,447
自己株式	△2	△2
株主資本合計	55,483	52,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,575	1,918
為替換算調整勘定	△1,170	△2,258
退職給付に係る調整累計額	△1,010	△927
その他の包括利益累計額合計	△605	△1,266
新株予約権	219	266
非支配株主持分	2,227	2,122
純資産合計	57,326	53,259
負債純資産合計	373,640	349,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	207,086	185,462
売上原価	158,649	141,413
売上総利益	48,437	44,049
販売費及び一般管理費	43,344	44,512
営業利益又は営業損失(△)	5,092	△462
営業外収益		
受取利息	424	314
受取配当金	151	38
補助金収入	—	618
その他	254	177
営業外収益合計	830	1,147
営業外費用		
支払利息	714	724
持分法による投資損失	103	386
為替差損	272	157
その他	41	125
営業外費用合計	1,131	1,394
経常利益又は経常損失(△)	4,791	△708
特別利益		
固定資産売却益	28	46
投資有価証券売却益	407	0
受取保険金	—	41
事業譲渡益	63	—
特別利益合計	499	88
特別損失		
固定資産処分損	81	110
減損損失	—	142
災害による損失	—	48
関係会社整理損	—	33
事業構造改善費用	—	498
特別損失合計	81	833
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,209	△1,453
法人税、住民税及び事業税	2,164	1,686
法人税等調整額	729	△1,228
法人税等合計	2,893	458
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,316	△1,912
非支配株主に帰属する四半期純利益	221	50
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,094	△1,963

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,316	△1,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△661	343
為替換算調整勘定	△3,920	△1,145
退職給付に係る調整額	82	83
持分法適用会社に対する持分相当額	2	10
その他の包括利益合計	△4,496	△709
四半期包括利益	△2,180	△2,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,405	△2,624
非支配株主に係る四半期包括利益	224	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度末においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により足元の業績に一時的な売上高減少等の影響が生じていたことから、この状況が当連結会計年度の第2四半期までは継続するものの第3四半期以降は回復するものと仮定しておりました。

現時点では、新型コロナウイルス感染症による影響が2021年3月期を通じて継続し、当連結会計年度内では収束には至らないと判断しております。しかしながら、確実に復調の兆しは見え始めており、この状況は翌期以降も継続するとの仮定のもと会計上の重要な見積り（のれんの減損の認識の判定）を行っております。

なお、この仮定の変更に伴う当第2四半期連結財務諸表への影響はありませんが、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であり、今後の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	88,953	118,133	207,086	—	207,086
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,819	1,357	21,176	(21,176)	—
計	108,772	119,490	228,263	(21,176)	207,086
セグメント利益又は損失 (△)	1,342	3,750	5,092	—	5,092

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	80,744	104,718	185,462	—	185,462
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,085	719	12,805	(12,805)	—
計	92,830	105,437	198,268	(12,805)	185,462
セグメント利益又は損失 (△)	△460	△1	△462	—	△462

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の生産停止と工場閉鎖)

当社は、2020年10月19日開催の取締役会において、当社の中国生産子会社である優嘉力叉車(安徽)有限公司(以下、UCCA)における生産活動を停止し、工場を閉鎖することを決議いたしました。

(1) 生産停止の理由

外部環境の変化への対応と中長期計画における生産体制の適正化を図るため、UCCAにおける生産を停止し、工場を閉鎖することを決定いたしました。なお、UCCAにて生産している一部製品は当社の中国生産会社である三菱重工叉車(大連)有限公司へ移管いたします。

(2) 生産停止予定日

2020年11月30日

(3) 優嘉力叉車(安徽)有限公司(UCCA)の概要

- ① 名称 優嘉力叉車(安徽)有限公司(UCCA: Unicarriers Forklift(Anhui) Co.,Ltd)
- ② 所在地 安徽省合肥市経済技術開発区
- ③ 代表者の役職・氏名 董事長 大野 雅宏
- ④ 資本金 329.4 百万元
- ⑤ 事業の内容 フォークリフトの製造・販売・保守
- ⑥ 出資者及び出資比率 当社100%

(4) 業績に与える影響

当該子会社の生産停止と工場閉鎖に伴う2021年3月期の連結業績に与える影響に関しては現在精査中であり、今後開示すべき事項が発生した場合は速やかにお知らせいたします。

3. その他

2021年3月期 第2四半期決算 参考資料<連結>

1. 決算ハイライト

(単位: 億円)

	2019年度					2020年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
売上高	1,050.4	1,020.4	1,275.4	1,142.8	4,489.1	905.3	949.2			1,854.6
営業利益<のれん等償却前> (営業利益率)	45.4 4.3%	48.2 4.7%	46.7 3.7%	42.8 3.7%	183.3 4.1%	10.3 1.1%	33.0 3.5%			43.4 2.3%
のれん等償却	△ 21.9	△ 20.8	△ 29.8	△ 26.3	△ 98.9	△ 21.9	△ 26.1			△ 48.0
営業利益<のれん等償却後> (営業利益率)	23.5 2.2%	27.4 2.7%	16.9 1.3%	16.4 1.4%	84.3 1.9%	△ 11.5 △1.3%	6.9 0.7%			△ 4.6 △0.2%
経常利益 (経常利益率)	23.8 2.3%	24.1 2.4%	17.0 1.3%	5.4 0.5%	70.4 1.6%	△ 13.7 △1.5%	6.6 0.7%			△ 7.0 △0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	6.0 0.6%	14.9 1.5%	9.3 0.7%	△ 82.7 △7.2%	△ 52.4 △1.2%	△ 15.7 △1.7%	△ 3.8 △0.4%			△ 19.6 △1.1%

為替レート

(単位: 円)

USD	109.90	108.63	108.67	108.74		107.62	106.92			
EUR	123.49	121.42	121.05	120.82		118.48	121.30			

2. セグメント情報

(単位: 億円)

	2019年度					2020年度					
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	
売上高	国内事業	422.5	466.9	434.1	466.7	1,790.4	383.8	423.5			807.4
	海外事業	627.9	553.4	841.2	676.0	2,698.7	521.4	525.6			1,047.1
営業利益	国内事業	12.9	24.1	13.8	33.5	84.4	4.4	16.7			21.1
	海外事業	32.6	24.2	32.8	9.2	98.8	5.9	16.2			22.2

※営業利益はのれん等償却前営業利益

地域別売上高

(単位: 億円)

地域	2019年度					2020年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
日本	422.5	466.9	434.1	466.7	1,790.4	383.8	423.5			807.4
米州	333.3	302.8	567.5	425.1	1,628.9	323.4	325.5			649.0
欧州	209.5	172.8	191.3	186.0	759.7	147.3	150.1			297.5
アジア・中国	84.9	77.8	82.3	64.8	310.0	50.6	49.9			100.6
計	1,050.4	1,020.4	1,275.4	1,142.8	4,489.1	905.3	949.2			1,854.6

3. フォークリフト販売台数

(単位: 千台)

	2019年度					2020年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
国内	7	7	7	7	29	7	6			13
海外	20	18	19	18	74	14	12			26
合計	28	25	26	25	103	20	19			39